

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は、△注意 を表示しています。

- △注意: この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- マークは「指示」
- 🚫マークは「接触禁止」

△注意 (CAUTION)

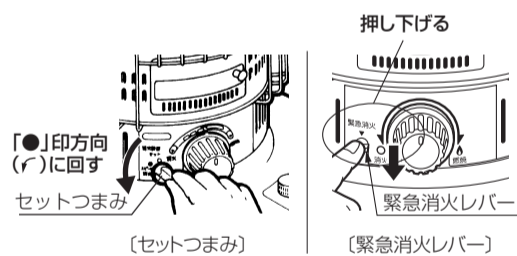
- ★適合する機器の確認
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。予想もしない事故が発生するおそれがあります。 **確認**
- ★保護具の着用
機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。 **指示**
- ★高温部に注意
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。やけどのおそれがあります。 **接触禁止**
- ★乾電池を取りはずす
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。やけどのおそれがあります。 **指示**
- ★廃棄するとき
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。 **指示**

お願い (NOTICE)

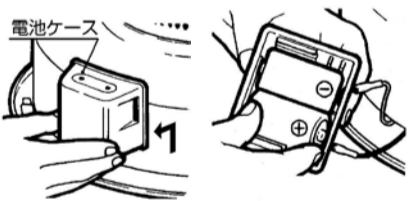
- ★しん取り付け後の確認
 - しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
 - 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
 - 点火操作をして、正常に燃焼することを確認してください。
- ★変質灯油や不純灯油に注意
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。
- ★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。
- ★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

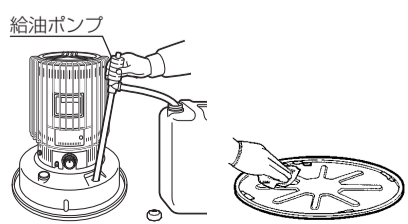
1 対震自動消火装置を作動させて、しんを下げてください。



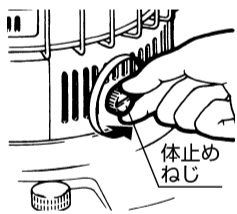
乾電池を電池ケースから取りはずしてください。



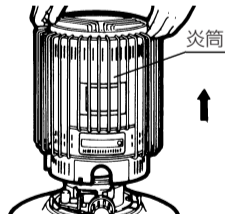
2 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。油タンクを左回転させて置台をはずし、置台のほこり、ごみを取りのぞいてください。取りはずした置台は、必ず元通りに取り付けてください。置台を取り付けて使用しないと、火災など予想しない事故が発生するおそれがあります。



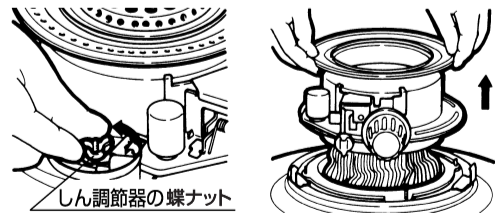
3 炎筒と油タンクの接合部の体止めねじ3本を取りはずしてください。



4 炎筒をゆっくり持ち上げて取りはずしてください。



5 しん調節器の蝶ナット4本を取りはずし、しん調節器を上を持ち上げて取りはずしてください。



●蝶ナットが回しにくい場合は、マイナスドライバーなどを使って蝶ナット(4箇所)を取りはずしてください。この時、無理に回すとねじ山をつぶすおそれがありますので、ご注意ください。



トヨ耐熱しん 第124種

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。(しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

適合する機器の型式表		参照	替しんの型式名	トヨ耐熱しん第124種
トヨストーブ	KRA-105・105(N), KSA-105G, DC-100, KR-44A, CKS-565, KS-52A・56A・56B・56C	①	種類	普通筒しん
宿営暖房型	KS-SDF56		呼び寸法	φ105×3.2
トヨレンジ	K-3C, K-3D, K-3E, K-3F, K-3M, K-3N	②	からやきの可否	からやき可

しん品番: 0546000680

商品コード	12012907
品名	タイネツシンクミタテ

株式会社 トヨトミ

製造 SILVER SIM

株式会社 トヨトミ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口

フリーコール 0120-104-154

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220

ホームページ <https://www.toyotomi.jp/>

0546000685

N-8

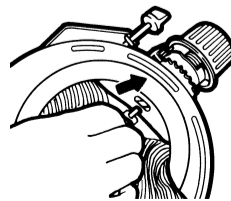
6 古いしんを四つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。しんホルダーを変形させないように注意してください。



7 しん調節器内側のみぞの穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。

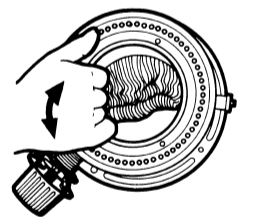


8 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴にしんのガイドピンを3箇所を差し込んでください。しんホルダーを変形させないように注意してください。

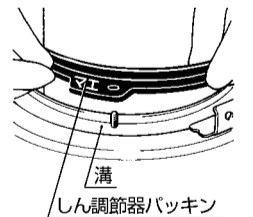


お願い
この時しんホルダーの上下を間違えないでください。

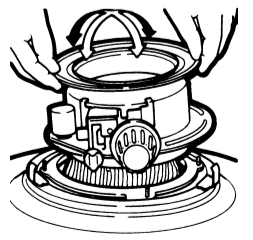
9 しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動した時に、しんが下がらないことがあります。



10 しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。パッキンの表示(マエ)位置を合わせて取りつけてください。



11 しんの下部を広げ、油タンクとしん調節器にしんをなつかせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。

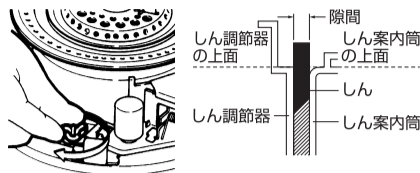


お願い
しんのほつれや、糸が油タンク外に出ないように注意してください。

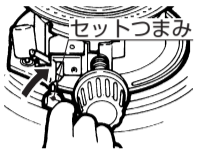
(裏面の3ページへ続く)

裏面に、しん高さ確認ゲージがついています。

12 しん案内筒としん調節器の間隙が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット4本で均等に締めてください。1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃烧筒ののる面)の高さが揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えます。)



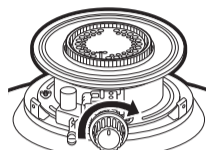
13 しん調節つまみを右(→)に止まるまで回して、しんを上げてください。(対震自動消火装置の作動を確認します。)



セットつまみを右(→)に回す。



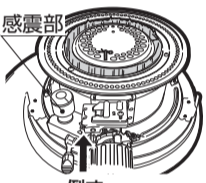
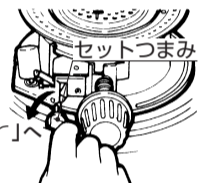
右(→)に回して、対震自動消火装置をセットする。



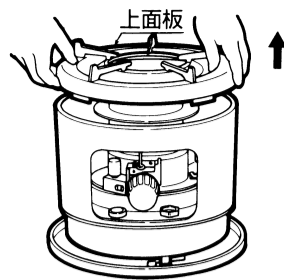
しん調節つまみを右(→)回して対震自動消火装置をセットする。

対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がることを2~3回確認してください。

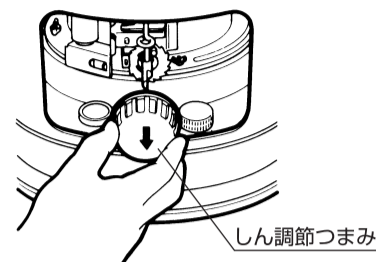
しんの上下がスムーズでない場合は、しんのなつかせかたが悪いためです。もう一度9項からやりなおしてください。



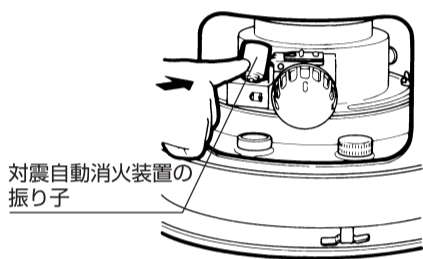
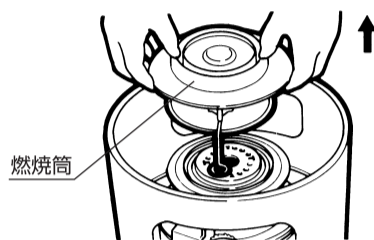
1 上面板を取りはずしてください。



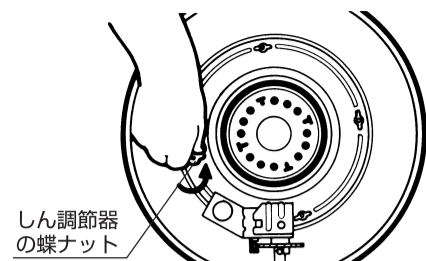
2 しん調節つまみを引き抜いてください。



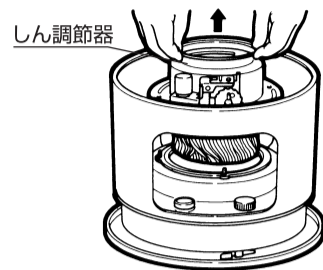
3 燃烧筒を取り出し、対震自動消火装置の振り子を押しして対震自動消火装置を作動させてください。



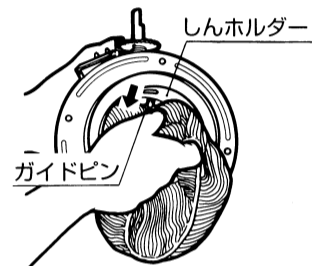
4 しん調節器の蝶ナット(4箇所)をはずしてください。



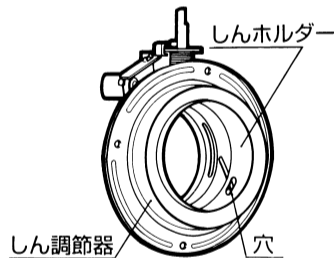
5 しん調節器を上方へ持ち上げて、取りはずしてください。



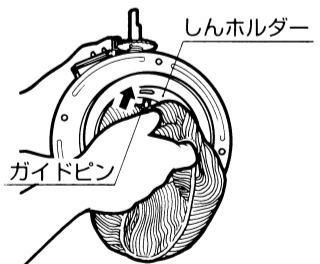
6 古いしんを四つ折りにするようにして、しんの3箇所のガイドピンをしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。



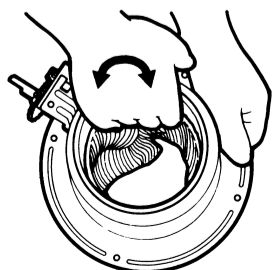
7 しん調節器内側のみぞの穴と、しんホルダーの穴を合わせてください。



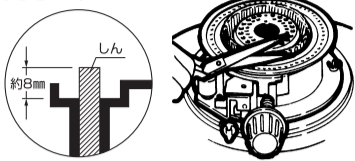
8 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルダーの穴と、しん調節器のみぞの穴に、しんのガイドピンを3箇所差し込んでください。このとき、しんホルダーを変形させないように注意してください。



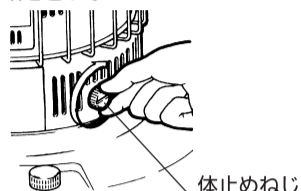
9 しんをしん調節器の内側に指でこすりながら、充分になつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



14 しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(でるでるつまみの①の穴に固定ピンの凸部を入れてください)で約8mmです。しんが約8mmの高さに均等に揃っていることを確認してください。しん上端の糸のほつれ等は、はさみで取り除き、きれいに整理してください。6ページ右下のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。



15 炎筒をかぶせ、燃烧筒を正しくしん調節器の上ののせて、体止めねじ3本で固定してください。



16 燃烧筒つまみを軽く左右に2~3回動かし、燃烧筒が正しくしん調節器にセットされているか、しんの上ののっていないかを必ず確かめてください。

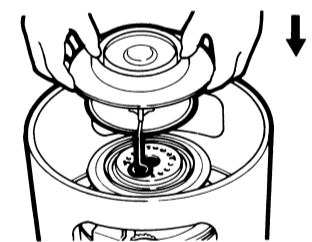


17 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。乾電池の入れ方が⊕⊖逆ですと、点火できなったり、点火しにくくなります。

18 油タンクに給油してから20分以上待つて、しんに灯油が充分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに作動し、正常に燃焼することを確認してください。

13 対震自動消火装置の振り子を押しして対震自動消火装置を作動させ、しんが完全に下がることを2~3回確認してください。しんが完全に下がらないときは、しんのなつかせかたが悪いためです。もう一度9項からやり直してください。

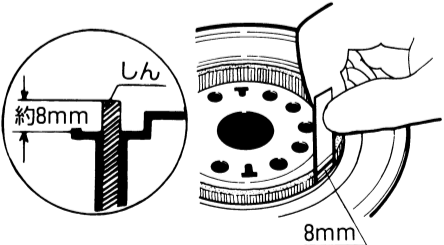
16 燃烧筒つまみを軽く左右に2~3回動かし、燃烧筒が正しくしん調節器にセットされているか、しんの上ののっていないかを必ず確かめてください。



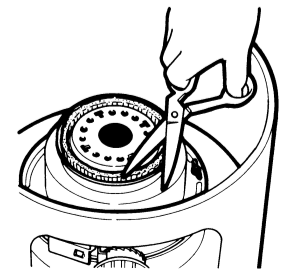
14 しんをいっぱい上げたとき、しんの高さは約8mmです。しんの高さが約8mmに均等に揃っていることを確かめてください。

14 しんをいっぱい上げたとき、しんの高さは約8mmです。しんの高さが約8mmに均等に揃っていることを確かめてください。

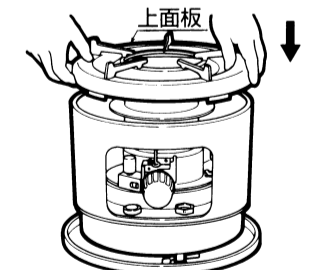
• 6ページ右下のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。



15 しん上端の糸のほつれ等を、はさみで取り除き、きれいに整理してください。



17 上面板を取り付けてください。



18 油タンクに給油してから、20分以上待つて、しんに灯油が充分吸い上げられてから点火して、各部がスムーズに作動して正常に燃焼することを確認してください。

